

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	湖北地域障害者生活支援センター あ〜と		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日		2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けている。	昨年度までは研修を兼ねた交流会を行っていたが、今年度は親子参加型の家族交流会を実施した。	今後も参加型のイベントを提供し、保護者の方やご本人、ごきょうだいが参加できる機会を設ける。
2	利用者が過ごす生活空間は、成長に合わせた環境作りや活動内容を提供している。	利用者の年齢や成長・ニーズに合わせて活動場所にそれぞれ分かれていただいている。 プレイルームでは、身体を動かすエリアと本を読んだりおもちゃで遊ぶエリアをそれぞれ作っている。 作業棟では就労に向けた活動や作業ができるよう環境を整えている。	集団で過ごす環境の中でも、利用者一人ひとりが過ごしやすいようなレイアウトを考える。
3	利用者の生活の質の向上と職員の質の向上を高める。地域に開かれた事業運営を図る。	外部講師の方に実際にケースを見ていただき、会議を通じて、支援の方法の助言をいただいている。	今後も職員の質の向上を高めるために、ケースを通じて、発達支援室や外部講師から助言をいただき支援につなげていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害や防犯などの非常時の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが周知できていない。避難訓練も実施しているが、保護者の方に周知できていない。	長期休暇を利用して、不審者の防犯対策や災害時の避難場所に避難するなど訓練を行っていく。 保護者の方にも周知できるよう事業所の広報などを利用し伝えていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 湖北地域障害者生活支援センター あへと

公表日 2026年3月2日

利用児童数

24人

回収数

19人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	89%	11%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95%	5%			他の事業所と比べて職員の人数が多く、しっかり見ていただいています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%	5%		5%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%			5%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				実年齢や発達年齢を踏まえ、将来を見据えた計画を作成していただいています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%	5%		5%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				季節に沿ったいろいろなプログラムを用意していただき、いつもアイデアが素敵だなと思っています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	78%		11%	11%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%				なかなか参加できていませんが、勉強会のテーマを見ると参加したいと思える内容になっています。先日の交流会楽しかったです。次回もぜひ参加したいです。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95%	5%			とても丁寧に対応してくださっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%			5%	とても丁寧に関わってください。とても親身になってお話を聞いてくださっています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	52%	37%		11%	兄弟向けのイベントは年齢差もあり難しいのですが、兄弟と本人で楽しむ、親を独占できる時間などあるといいと思います。大人になられた兄弟のお話を聞きたいです。	今年度は親子で参加する交流会を実施しました。今後、ご意見いただいたことをもとに内容を検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	79%	16%	5%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90%	5%	5%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	58%	11%	31%		マニュアルの策定をし玄関に掲示していますが、周知ができていないです。丁寧な説明と広報をしていきたいです。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	53%	16%	31%		定期的に避難訓練は実施していますが、周知ができていないです。丁寧な説明と広報をしていきたいです。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89%	11%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	78%	11%	11%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%	5%			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	95%	5%			あへて行くところをどう過ごすのかわかっているため、送迎車を見るとすぐに乗り込みます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				障害や特性への専門的な視点、かかわりの提案など本人をよく理解して関わっていただいていると感じています。しっかり対応していただいている事業所なので、受け入れ定員を増やしてほしいです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	湖北地域障害者生活支援センター あへと				公表日	2026年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		長期休暇は地域の資源を使いながらスペースを確保するなど工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	時間帯や活動内容に応じて増減するなど工夫しています。配慮していますが、同性介助は難しい状況です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	93%	7%	屋内、玄関はバリアフリー対応していますが、中庭への出入り口は出来ていません。滑り止めのマットを引く対応はできています。	中庭への出入り口に段差があり、車いす使用の利用者は使いづらい状況があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	毎日清掃、消毒を実施しています。低学年が多い現在は粗大運動のスペースを多く確保しています。	利用者の成長に合わせたレイアウト変更が必要です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	93%	7%	特性に応じて空間を区切るなどして個別スペース、共有スペースを確保しています。	静かなクールダウンできる場所が作れるといいなと感じていますが、構造上難しいのが現状です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		会議参加が難しいときは事前に聞き取りを実施し、改善につなげています。	他事業の職員との共有が難しい現状があります。報連相を丁寧にしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価を受け、活動内容の検討をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		定期的に会議を実施し、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		2回/年法人内部監査を実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		全職員、2回/年の研修受講を推進しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		ご家族に事前に聞き取りを実施し、支援計画の策定に反映できるよう努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員間で情報共有し、支援計画の作成をしています。会議に出席できない職員からは事前に聞き取りを実施し、反映できるように努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援計画の一覧表を作成するなど工夫し、常に確認できるように努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		個々に応じて実施しています。また、必要に応じて発達ケアマネの評価を受けています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		会議時に必ず5つの視点および移行や連携を意識しながら策定できるように心がけています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	93%	7%	必ず会議を実施し、チームで検討しています。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		アンケートを実施し、振り返りを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		子どもに応じて支援内容を変更しています。個別活動、集団活動を織り交ぜながら組み立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		支援開始前には必ずミーティングを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	勤務時間が違うため当日の振り返りはできないですが、翌日には情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	93%	7%	記録用紙に計画内容を記載し、記録、評価がしやすいように工夫しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		1回/3か月はモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		ガイドラインを確認しながら活動を組み立てています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	93%	7%	視覚支援やPECSなどを活用し、選択や要求の機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者、保育士2名で参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	93%	7%	教育関係、福祉関係とは連携できているが、地域の保健、医療とは出来ていないのが現状です。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		FAXやメールなどを活用しながら連絡調整しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		利用前に療育教室やこども園へ訪問し、情報を得てから支援を開始しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		スムーズな移行を目指し、就業先へ情報提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		ケースを通じて、発達支援室や外部講師から助言をいただき支援につなげています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	47%	53%	地域の子どもの交流ができていないのが現状です。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	93%	7%	学齢期部会へ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	93%	7%	送迎時に情報共有している。また、メールを活用し、気軽に連絡できる環境を整えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	73%	27%	ペアレントトレーニングはしていないが、その都度相談には応じています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	14%	必ず、契約時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	93%	7%	送迎時や面談時などに要望をお聞きしながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		6か月ごとに面談を行い、活動報告と計画の説明を実施しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		話しにくいときは別に時間を設けるなどその都度相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%		昨年度までは研修を兼ねた交流会、今年度は親子参加型の家族交流会を実施しました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情解決の窓口を設置し、体制を整えています。迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月広報を発行し活動報告するとともに、5領域など活動内容をホームページに掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報の取り扱いについて留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		個々に応じてさまざまな伝達方法を模索しています。また、ご家族とはショートメールなどを活用し気軽に伝達できる手段を設けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	地域の方を招き、スポーツや音楽のイベントを企画している。また、バスや駅、公民館など地域資源を活用しながら活動をしています。しかし、十分ではないと感じています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		マニュアルの見直しも含め、計画的に実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		災害時にいかに事業継続をしていくのか、事業所全体で取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	93%	7%	その都度、ご家族と情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	医師の意見書の提出まではしていませんが、ご家族から情報を得て対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を策定し、定期的に改善、会議、研修などを実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		広報を通じて発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットの回覧や会議での共有を実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		2回/年アンケートや虐待防止研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		1回/2か月ごとに身体拘束0会議を実施しています。その都度ご家族と相談しながら支援を進めています。		